

# 2020年3月期 第1四半期決算説明会

2019年8月9日

堀田丸正株式会社

代表取締役社長 大西 雅美

(東京証券取引所第2部 証券コード8105)

## ①第1Qで3期ぶりに営業黒字を達成

- ・年間営業利益見通しに対して37%進捗と順調
- ・4つのセグメントすべてが営業黒字達成
- ・協同組合の清算に伴う、特別利益73百万計上
- ・前期までの構造改革に伴う収益性改善が奏功

## ②洋装事業が飛躍的に収益性を改善

- ・前期大きく赤字を計上した馬里邑事業が黒字転換
- ・前期以来好調なアパレル事業が増収増益

## ③財務状況は、健全な状態を維持

- ・固定資産売却等の推進で手持ち資金増加
- ・営業キャッシュフロー創出で、無借金経営継続

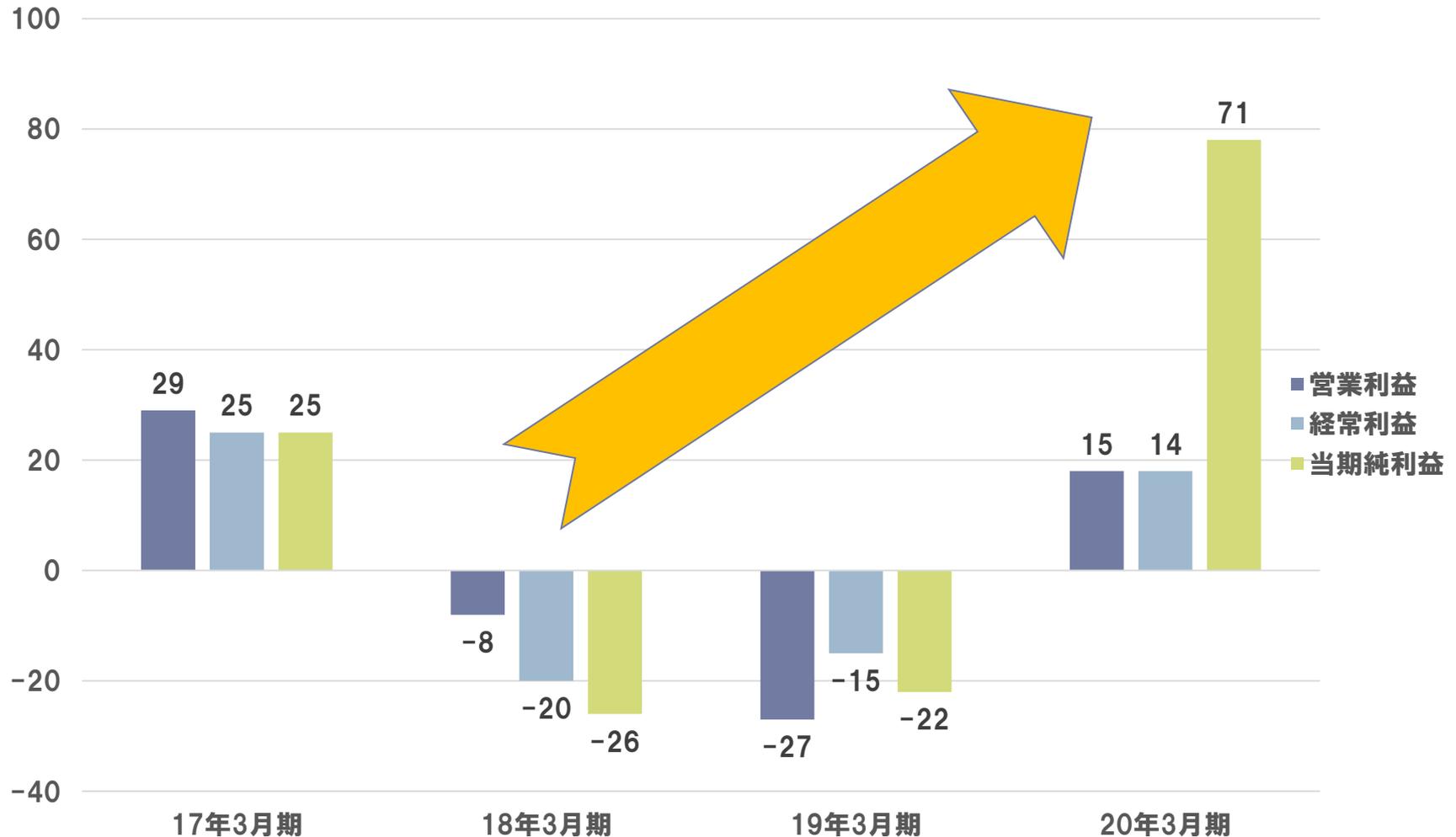
# 決算概要

## 連結損益計算書(第1Q)

- 売上高は、洋装事業が回復傾向も、全体としては下降傾向に歯止めがかからず
- 売上総利益、販管費は、前期までの構造改革の結果、飛躍的に改善
- 3期ぶりに営業黒字達成。前期比+42百万と飛躍的に収益性向上
- 協同組合清算に伴う特別利益73百万の計上で、当期純利益は昨年比+93百万の改善  
(単位:百万円)

	2019年3月期 第1Q	2020年3月期 第1Q	増減額	前年同期比
売上高	1,664	1,506	▲158	90.5%
売上総利益	490	487	▲3	99.3%
販管費	517	471	▲44	91.1%
営業利益	▲27	15	+42	—
経常利益	▲15	14	+29	—
当期純利益	▲22	71	+93	—

- 3期ぶりに第1Qが黒字転換
- 通期見通しに対して営業利益で進捗率37%と順調なスタート



- 洋装事業は、馬里邑の飛躍的な改善に加え、アパレル事業が好調継続
- 意匠燃糸事業は、海外、国内事業は黒字もOEM事業の赤字で減益

(百万円：%)

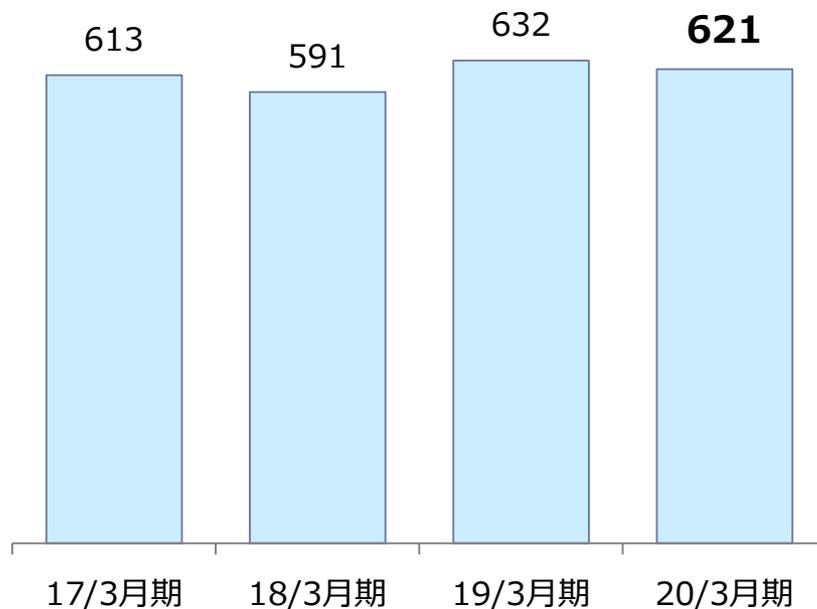
	売上高				セグメント利益			
	2019年3月期 第1Q	2020年3月期 第1Q	増減額	前年 同期比	2019年3月期 第1Q	2020年3月期 第1Q	増減額	前年 同期比
<b>連結</b>	1,664	1,506	▲158	90.5	▲27	15	+42	—
<b>洋装事業</b>	632	621	▲11	98.2	▲27	36	+63	—
<b>意匠燃糸事業</b>	520	441	▲79	84.8	32	22	▲10	68.0
<b>和装事業</b>	376	314	▲62	83.5	6	3	▲3	51.4
<b>寝装事業</b>	134	128	▲6	95.9	5	6	+1	115.9
<b>本社・調整</b>	—	—	—		▲43	▲52	▲9	121.0

※連結売上高、経常利益、当期利益は連結相殺を含んでおります。

馬里邑事業の飛躍的な改善に加えて、アパレル事業の安定成長、丸福事業の堅調推移で黒字転換

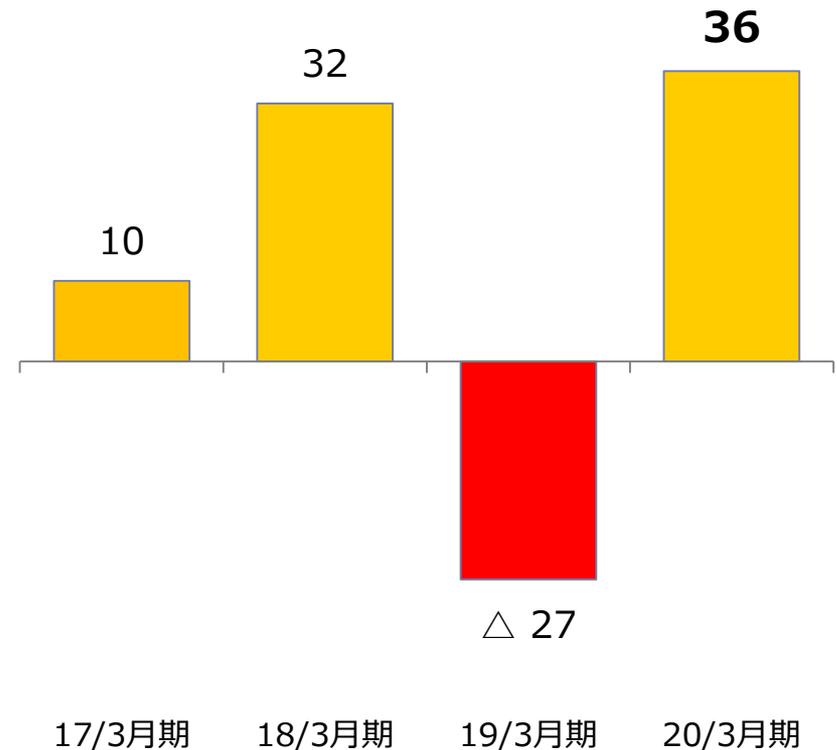
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

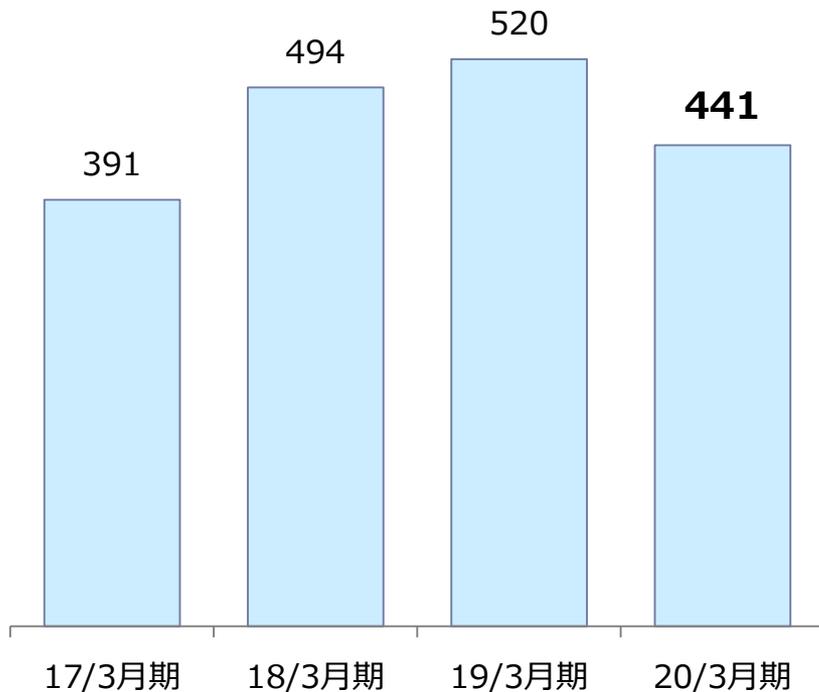
(単位：百万円)



国内事業及び海外事業は堅調推移も、OEM事業のイエリデザインの赤字により減収減益

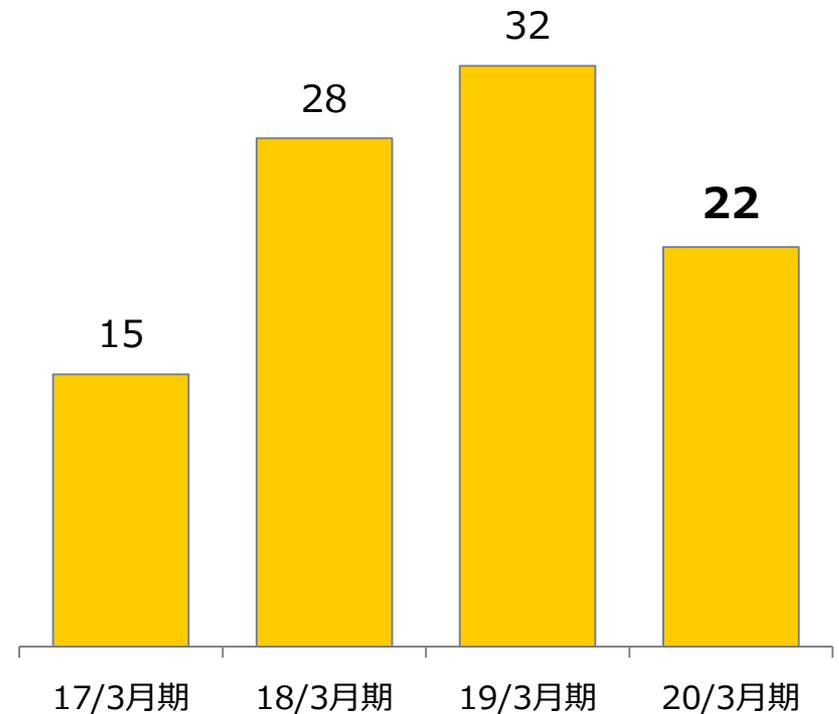
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

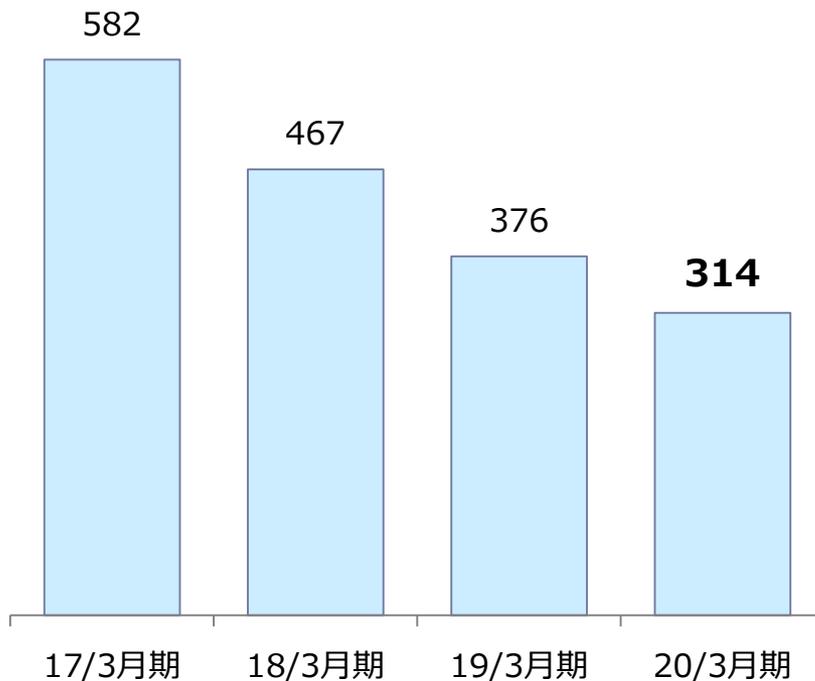
(単位：百万円)



## 和装東日本及び和装西日本事業は増益達成も、子会社吉利の赤字転落により減益

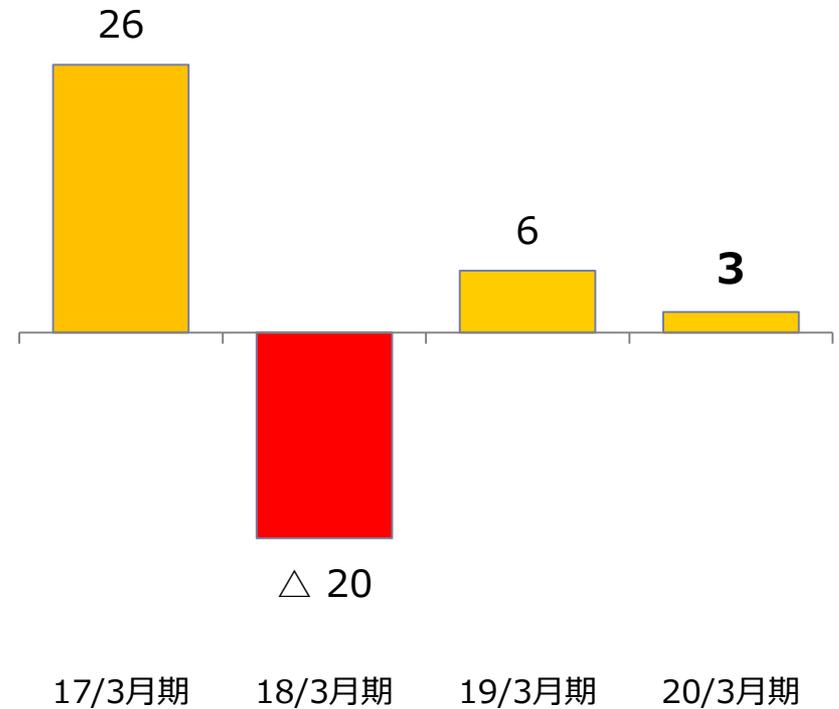
### 売上高

(単位：百万円)



### 営業利益

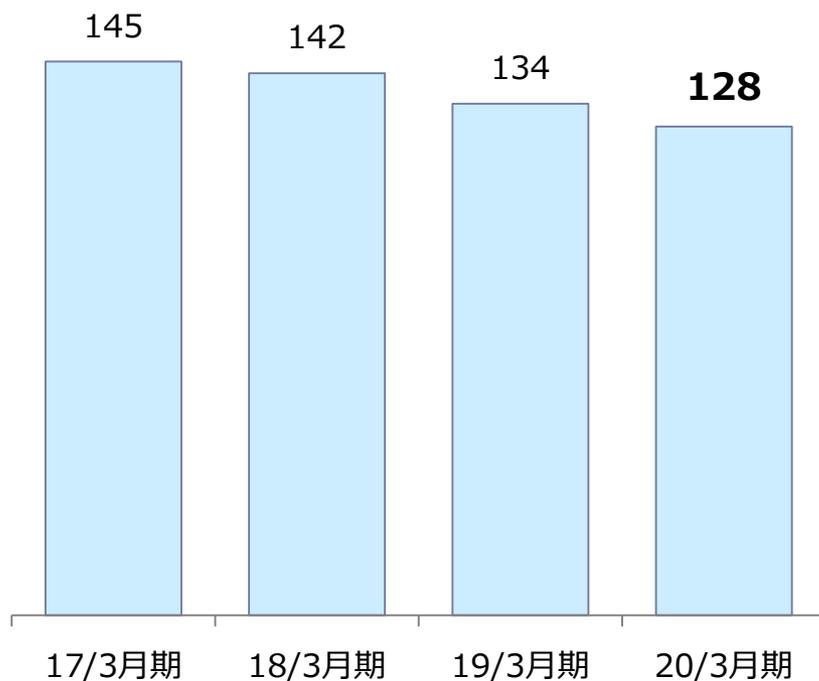
(単位：百万円)



堅調な寝装事業に加えて、東北地区でのギフト事業が安定推移

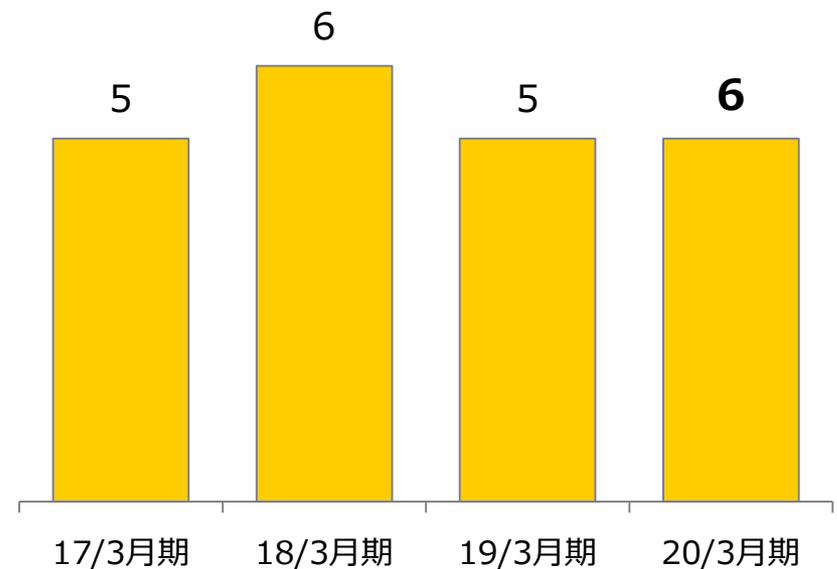
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

(単位：百万円)



# 連結貸借対照表

単位:百万

堀田丸正 株式会社

資産の部	2019/3 期末	2019/6 期末	増減額	負債・ 純資産の部	2019/3 期末	2019/6 期末	増減額
流動資産	5,442	5,403	▲39	流動負債	1,430	1,310	▲120
				固定負債	50	48	▲2
固定資産	279	266	▲13	純資産	4,241	4,311	+70
資産合計	5,722	5,670	▲52	負債・純 資産合計	5,722	5,670	▲52

# 今後の経営方針

# 今後の経営方針

## ①コア事業である意匠燃糸事業の一層の拡大

- ・中国内販向けへのアプローチ再強化
- ・欧州向けの提案強化。売上拡大
- ・経営資源の集中投下

## ②第2の柱である洋装事業の飛躍的な収益改善

- ・構造改革が終了した馬里邑事業の黒字拡大
- ・順調なアパレル事業の一層の拡大強化
- ・ベビー・子供の再建による丸福事業の再成長

## ③持続的成長のための経営基盤の確立推進

- ・事業領域拡大による将来リスクの軽減
- ・事業ポートフォリオの見直しに着手

## 重要方針/戦略

## 概要説明

## 方向性

1  
意匠撚糸事業の拡大

中国現地法人による海外企業向けの意匠撚糸共有の飛躍的な拡大を図る

堀田上海の収益構造を見直し  
中国内販事業強化  
欧州向けの飛躍的な拡大

2  
洋装事業の飛躍的な収益性改善

前期までに構造改革が終了した馬里邑事業の飛躍的な改善  
アパレル、丸福事業の安定成長

評価減在庫の活用で馬里邑事業の粗利改善及び事業効率化推進

3  
和装事業の黒字維持

リサイクル等の新規チャネルの活用で売上下降傾向に歯止めをかけて、黒字維持向上

催事販売の効率化で百貨店売上及び収益の改善  
吉利事業の収益性改善

4  
寝装事業の継続成長

順調なギフト事業に資源集中で一層の売上、利益拡大  
寝装事業の安定化

ギフトバリエーションの拡大で更なる受注の拡大

5  
持続的な経営基盤の確立推進

将来の収益創造のために事業領域を拡大

事業領域の拡大の伴い、事業ポートフォリオ再編

## <当期純利益上方修正> 協同組合の清算に伴う、特別利益計上

(単位:百万円)

	2019年3月期 年間	2020年3月期 年間	増減額	前年比
売上高	6,665	6,445	▲220	96.7%
売上総利益	1,602	2,044	+442	127.6%
販管費	2,039	2,004	▲35	98.3%
営業利益	▲437	40	+477	-
経常利益	▲419	33	+452	-
当期純利益	▲465	65	+530	-

# 免責事項

**本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。**

**本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。**